

# 海外展開戦略(情報通信)の概要

## 1 市場動向

- 情報通信分野は継続的な技術革新を通じ、引き続き世界的な市場の拡大(年平均成長率7.0%)が見込まれる。
- 特に、IoT、ビッグデータ、AI等の新たな技術・サービスの発展に伴い、これらを支える大容量の情報通信インフラ及び当該インフラを活用した様々なシステムへの需要が世界的に増大していくことが見込まれる。

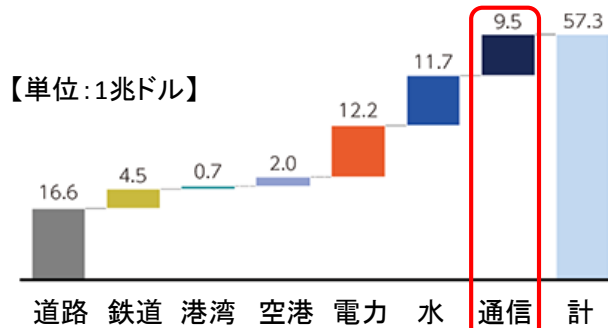
世界のICT市場の規模



(出典)IHS Technology

2013年から2030年までの世界のインフラ投資額の予測

【単位:1兆ドル】



(出典)McKinsey Global Institute

## 2 我が国の強み

- 経済性(ライフサイクルコスト)、安全性・強靱性、持続可能性等を強みとする「質の高いICTインフラ」の提供
- 世界的に評価される高い技術力(高速かつ信頼性の高いネットワーク整備を実現する総合的な技術、機器の低電力化技術、高精細映像(8K)技術、高精度な生体認証技術・レーダー技術等)や課題解決力(防災、医療等の領域へのICTの適用、郵便業務の改善ノウハウ)
- 標準化に関する戦略的な取組(地上デジタル放送、エネルギーマネジメントシステム等)
- 地上デジタル放送日本方式の展開等を通じて得られたノウハウや各国との協力関係

## 3 競合国の動向

- 従前より欧米企業が高い競争力を有し、グローバル市場での存在感を有する。
- 技術力の伸長や豊富な資金力を背景に、近年、グローバル市場における中国企業の存在感が増大。

# 海外展開戦略(情報通信)の概要

## 4 今後の方向性

➤ 市場の動向、我が国の強み、競合国の動向等を踏まえ、今後、我が国として注力すべき重点領域を整理。

### 重点領域

#### (1)既に一定の成果があり、今後も継続して成果が期待される領域

海底ケーブル  
【アジア太平洋地域等】

セキュリティ・セーフティシステム(生体認証システム等)  
【欧米、アジア、中南米、アフリカ等】

放送システム(地デジ等)  
【中南米、アジア等】

ブロードバンド網整備(光ファイバ等)  
【欧米、アジア、中南米、アフリカ等】

郵便システム・関連システム  
【アジア等】

#### (2)将来の成果が期待される領域

電波システム  
【アジア等】

防災ICTシステム  
【アジア、中南米等】

サイバーセキュリティ  
【アジア等】

医療ICTシステム(※)  
【アジア、中南米等】

通信衛星システム・準天頂衛星システム  
【アジア、オセアニア、中東等】

エネルギー・マネジメントシステム  
【欧米、アジア等】

(※) 今後策定する医療分野の  
海外展開戦略で取り上げる

➤ その際、

- トップセールスの推進
- 政策支援ツール、ファイナンスツール、人材育成・技術協カツールの積極的な活用
- 「質の高いICTインフラ」投資の指針を活用した、インフラの質に関する各国の理解の醸成・向上
- 各社の協調領域に関する取組の推進(情報収集、人材育成、人脈形成等の共有・活用)
- IoTやAI等の高度な情報通信技術の活用
- 放送コンテンツの海外展開との連携等を通じ、より効果的な取組を追求する。